

令和6年度第三セクター経営評価結果及び対応について

一般財団法人青森市文化観光振興財団

1 令和6年度 経営評価

評価項目	目的適合性	効率性・効果性	組織運営の健全性	財務の健全性	透明性	自立性
第一次評価 (法人)	概ね良好	概ね良好	概ね良好	概ね良好	概ね良好	概ね良好
第二次評価 (所管部局)	概ね良好	概ね良好	概ね良好	概ね良好	概ね良好	概ね良好
第三次評価 (評価委員会)	概ね良好	概ね良好	概ね良好	概ね良好	概ね良好	概ね良好

全ての項目において「概ね良好」という結果となっている。

【青森市第三セクター経営評価委員会による意見等】

総括的な所見：・組織体制の整備等による人件費の削減や効率性・効果的な事業実施など、経営努力の結果が3期連続の黒字に結びついたことは評価できる。
・施設によっては、入込者数が減となっているところがあることから、事業の充実と見直しを行いながら、安定的な利用料金収入の確保や市民ニーズに沿った事業展開を図るなど、利用者増加のための取組に期待する。
・今後においても、独立した経営体として自主・自立性を高めるとともに、第三セクターとしての公益性・公共性を意識した経営により、引き続き、市の施策推進に貢献されることを期待する。

※参考 令和5年度決算

■当期損益 2,976千円 累積損益 36,659千円

■市からの収入

全体575,913千円（経常収益に占める割合 R5：54.6%←R4：66.2%

うち競争によらないもの13,746千円（経常収益に占める割合 R5：1.3%←R4：5.0%）

2 第三セクターの対応

◆経営戦略プラン（R5～R7）の取組と計画

以下の経営戦略方針に基づき事業を推進

①経営基盤の強化、②指定管理施設の機能充実と利用促進、③利用者サービスの充実、④公益性、公共性を重視した施設運営ならびに事業展開、⑤収益事業推進による財務基盤の強化、⑥地域との連携強化、⑦情報発信の強化、⑧人材育成の強化、⑨観光・レクリエーションの普及振興、⑩文化芸術の普及振興

○具体的取組

- ・組織構成及び責任者の配置・役割の見直しによる経営責任の明確化
- ・指定管理施設の防災・防犯管理の徹底
- ・イベントの見直しと各施設の特性を生かしたイベントの検討
- ・SNSによるリアルタイムな情報発信の実施

○財務計画：毎年度当期損益の収支均衡を最低限維持

【取組状況】

令和6年度については、各事業所における事業計画に基づき、それぞれの施設の特性を生かしたイベント等を実施し、利用者サービスの充実を図っている。

また、各事業所の取組としては、ユーサ浅虫では、ホームページの全面リニューアルや電子マネーによる決済の種類拡大のほか、モヤヒルズでは、学校スキー教室の利用促進活動や各種イベントについてはSNSによる積極的な情報発信を行い、文化会館では、デジタルサイネージを活用した来場者へのわかりやすい掲示を行うなど、入込者数の増加に向けた取組を進めている。

令和7年度以降については、引き続き、当財団の健全経営のため、持続可能な法人として収益性の高い自主事業を展開していくとともに、市の施策推進に貢献するよう、公益性・公共性を意識した経営に取り組んでいく。

3 市の対応

組織運営の健全性に関し、一般財団法人青森市文化観光振興財団が定めた規程に基づく事務監査や契約事務手続が適切に行われるよう、同財団が行う事務監査に立ち会い、履行確認を行うなど、適切な事務手続の実施を促すための対応を行った。

また、財務の健全性に関しては、安定経営が維持されていることから、今後においても、健全経営の促進が図られるよう、引き続き、経営戦略プランに基づく取組等の着実な実施や収益事業の更なる検討・実施を求めていく。